



特定非営利活動法人

アジア眼科医療協力会

2020年度事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)



巻頭言



益々広がっている新型コロナウイルス（コロナ）の世界的パンデミックのため、我が国においても感染拡大の波が収まる気配がない状況が続いています。コロナ禍が一般社会生活にも多大な影響が及ぼしている現状では、当然ボランティア活動としてのAOCAにもこの2年間大きな影響が出ていますし、また、AOCAの存在意義も問われることとなっています。

実際、今年度も活動自体が全くできない状態になっており、ダラムサラのデレク病院に感染予防対策としてのマスク：ガウン等を送るだけになってしまいました。

「いつまでこの状況が続くのだろうか」
「来年度の活動は可能だろうか」「この状況下でAOCAに出来ることはなんだろうか」
「コロナ禍の後にはどうするか」メンバー一同憂慮しながら、感染の終息を願っています。

このような状況下においてAOCAを援助してくださっている皆様に現状をどの様に理解していただくか、今はただ見守っていた

ただけなのか、非常に心苦しく思っています。

実際に活動を再開するに当たっても、「コロナ禍が落ち着いた後では、何が必要とされているのか、どうすれば意味ある活動にして行けるのだろうか」といった、初心に戻った活動方針を考えていく必要があると思っています。

会員の皆様におかれましてはAOCAが再び走り出すまで見守っていただきますようお願い致します。早く、元気な状況を報告できる日が来ることを待ちながら、皆様方のご健康を願っています。

特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力会
理事長 黒田 真一郎

2020年度事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

I 概要

アイキャンプと現地支援事業

昨年1月頃からまたたく間に世界中に感染が拡大し、時を経るにつれて感染力が強い変異株が大勢を占めるようになり、いまだ猛威を振るっているCOVID-19。その影響で、20年前からアイキャンプ活動を行っているインド・北西部の丘陵地にあるダラムサラのデレク病院における活動、ならびに2年前から行っているインド南部カルタナカ州のバイラクッペにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalにおける活動は、ともに行うことができなかった。現地に赴くことに代えて、医療用機材や医療用消耗品の寄贈に取り組んだ。

物品寄贈

a) デレク病院への物品寄贈

過去20年にわたりダラムサラにあるデレク病院においてアイキャンプ活動を行ってきたが、2020年度については実施できなかった。そこでCOVID-19の感染予防のためのPPE（個人用感染防護具）をPPEを125セットとN95マスクを30箱寄贈した。



寄贈した個人用感染防護具125セットとマスク30箱

b) Tso Jhe Khangsar Charity Hospitalへの物品寄贈

バイラックペにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalで2年前から新たにアイキャンプ活動を始めたが、2020年度はコロナ禍のために実施することができなかった。そこで眼圧計、プロジェクター、PPEの寄贈を計画したが、輸送機が運航していないため日本から物品を届けることはできなかった。そこで資金を提供してTso Jhe Khangsar Charity Hospitalにて器材を購入するかたちでの寄贈を試みた。しかし、先方のExile Ruleにより、予算にない物品の購入はできないと判明し、次善策としてAOCAが現地の医療器材取扱業者から購入して機材を届けてもらうことにした。ところが、外国送金にあたり、その業者の取引銀行ではドルでは受け取りができないと後になって分かり、今回の寄贈は見送ることとなった。なお当計画は次年度への継続事業となった。

c) ネパールへの物品寄贈

ミサキメディカルより寄贈いただいた「コーワ社製の視野計」と「ローデンストック社製のスリットランプ」などの眼科医療器材を、ネパールにあるNGO団体ネトラジョティサンを通じてネパールの眼科病院への寄贈を試みたが、コロナの影響で輸送便が運航していないため実施できず継続事業となった。

II. 手術診療機器と手術消耗品の受入と設置

受贈年月日	寄贈者	診療機器	設置及び備考
2020年8月20日	株ミサキメディカル	スリットランプ(ローデンストック社製)	事務所に保管
2020年8月20日	株ミサキメディカル	視野計(コーワ社製)	事務所に保管

1. 診療機器と手術消耗品の受入と消費 (2020年4月1日～2021年3月31日)

次の診療機器と手術消耗品を寄贈いただきました。ご協力ありがとうございます。

2021年度事業計画

2021年4月1日～2022年3月31日

I. 基本方針

アイキャンプの実施

インド、ネパールの他、アイキャンプ活動を必要としている国や地域があれば、AOCAの知見を活かした協力活動を行います。

※アイキャンプは、僻地患者の救済と、アイキャンプに参加する日本人の社会貢献意識や、人間としての資質向上という2つの目的で活動します。

II. 支援地に必要な機材と医療用消耗品の寄贈

当会が設立以来行ってきたアイキャンプ活動は、2020年1月から世界中に流行し未だ収束のみえない新型コロナウイルス(COVID-19)感染の影響を受けて、ダラムサラアイキャンプ並びにバイラクッペアイキャンプについては、今年度の挙行を中止することとします。アイキャンプを行うことに代えて、ダラムサラとバイラクッペに必要な機材と新型コロナウイルスの感染防止に必要なフェイスシールド等の寄贈を行います。

III. 50周年記念誌の制作

AOCAの50年近い歴史のその時々でAOCAに関わってくださった方々の、懐かしい思い出やコメントを50周年記念誌として2022年度に発行する予定ですので、その編集を行います。

IV. その他

バザーの開催

昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止になった西宮市NP0フェスティバル(3月)にバザーで参加し、活動資金の獲得に努めます。AOCA理事・関係者の皆様に3月に向けてバザーに出品する品物(お歳暮の品など)を集めておいていただけるよう、協力依頼をします。



2020年度決算報告

2020年4月1日～2021年3月31日

2020年度 活動計算書			
特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会 (単位：円)			
科目	予算額	決算額	予算残額
1. 経常増減の部			
受取会費			
正会員受取会費	900,000	690,000	210,000
賛助会員受取会費	200,000	240,000	-40,000
受取会費計	1,100,000	930,000	170,000
受取寄付金			
受取寄付金計	1,066,200	1,155,190	-88,990
受取助成金等			
受取助成金等計	850,000	450,000	400,000
その他収益			
その他収益計	30,030	2,002,041	-1,972,011
経常収益合計	3,046,230	4,537,231	-1,491,001
事業費			
給料手当	700,000	700,000	0
【人件費計】	700,000	700,000	0
通信運搬費	300,000	7,400	292,600
消耗什器備品費	300,000	0	300,000
消耗品費	200,000	100,000	100,000
支払地代家賃	277,200	277,200	0
雑費	35,000	6,500	28,500
【その他費用計】	1,112,200	391,100	721,100
事業費計	1,812,200	1,091,100	721,100
管理費			
給料手当	300,000	300,000	0
法定福利費	3,000	3,020	-20
【人件費計】	303,000	303,020	-20
会議費	0	20,100	-20,100
通信運搬費	250,000	193,433	56,567
消耗品費	30,000	30,767	-767
事務用品費	10,000	9,430	570
印刷製本費	150,000	142,441	7,559
保険料	6,500	6,500	0
水道光熱費	25,000	31,337	-6,337
支払地代家賃	118,800	118,800	0
委託費	30,000	30,000	0
諸会費	85,000	85,000	0
支払手数料	30,000	36,962	-6,962
租税公課	2,500	600	1,900
雑費	50,000	10,290	39,710
【その他費用計】	787,800	715,660	72,140
管理費計	1,090,800	1,018,680	72,120
経常費用合計	2,903,000	2,109,780	793,220
当期経常増減額	143,230	2,427,451	-2,284,221
2. 経常外増減の部			
固定資産除却売却損			
什器備品除却損	0	80,001	-80,001
固定資産除却売却損計	0	80,001	-80,001
経常外費用合計	0	80,001	-80,001
税引前当期正味財産増減額	143,230	2,347,450	-2,204,220
当期正味財産増減額	143,230	2,347,450	-2,204,220
前期繰越正味財産額	4,398,985	4,398,985	0
次期繰越正味財産額	4,542,215	6,746,435	-2,204,220

2020年度決算報告

2020年4月1日～2021年3月31日

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 2017年12月12日最終改正)によっています。

(1) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込み経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目名	ドラムサラ	パイラックペ	事業部門計	管理部門	合計
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	0	0	0	690,000	690,000
賛助会員受取会費	0	0	0	240,000	240,000
受取会費計	0	0	0	930,000	930,000
受取寄付金					
受取寄付金	0	0	0	1,130,300	1,130,300
募金収益	0	0	0	3,390	3,390
50周年記念イベント	0	0	0	5,000	5,000
広告料収益	0	0	0	16,500	16,500
受取寄付金計	0	0	0	1,155,190	1,155,190
受取助成金等					
受取民間助成金	100,000	0	100,000	350,000	450,000
受取助成金等計	100,000	0	100,000	350,000	450,000
その他収益					
受取利息	0	0	0	31	31
雑収益	0	0	0	2,002,010	2,002,010
その他収益計	0	0	0	2,002,041	2,002,041
経常収益合計	100,000	0	100,000	4,437,231	4,537,231
(2) 経常費用					
【人件費】					
給料手当	350,000	350,000	700,000	300,000	1,000,000
法定福利費	0	0	0	3,020	3,020
【人件費計】	350,000	350,000	700,000	303,020	1,003,020
【その他費用】					
会議費	0	0	0	20,100	20,100
通信運搬費	0	7,400	7,400	193,433	200,833
消耗品費	100,000	0	100,000	30,767	130,767
事務用品費	0	0	0	9,430	9,430
印刷製本費	0	0	0	142,441	142,441
保険料	0	0	0	6,500	6,500
水道光熱費	0	0	0	31,337	31,337
支払地代家賃	138,600	138,600	277,200	118,800	396,000
委託費	0	0	0	30,000	30,000
諸会費	0	0	0	85,000	85,000
支払手数料	0	0	0	36,962	36,962
租税公課	0	0	0	600	600
雑費	0	6,500	6,500	10,290	16,790
【その他費用計】	238,600	152,500	391,100	715,660	1,106,760
経常費用合計	588,600	502,500	1,091,100	1,018,680	2,109,780
当期経常増減額	-488,600	-502,500	-991,100	3,418,551	2,427,451
2. 経常外増減の部					
経常外費用					
什器備品除却損	0	0	0	80,001	80,001
経常外費用合計	0	0	0	80,001	80,001
税引前当期正味財産増減額	-488,600	-502,500	-991,100	3,338,550	2,347,450
当期正味財産増減額	-488,600	-502,500	-991,100	3,338,550	2,347,450

3. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は7,146,435円ですが、そのうち79,053円はネパール震災支援に、155,000円は50周年記念事業に、400,000円と200,000円は寄贈物品に使用される財産です。したがって、用途の制約されていない正味財産は6,312,382円です。

内 容	期首残高	当期増減高	当期減少高	期末残高	備 考
ネパール支援	79,053	0	0	79,053	ネパール震災支援の寄附金
50周年記念事業	150,000	5,000	0	155,000	AOCA50周年記念事業への寄附金
日本眼科医会	0	500,000	100,000	400,000	ドラムサラアイキャンプへの補助金
参天製薬株式会社	0	200,000	0	200,000	物品寄贈への寄附金
合 計	229,053	705,000	100,000	834,053	

2020年度決算報告

2020年4月1日～2021年3月31日

2020年度 貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力会

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
流動資産		
現金	72,985	
当座預金	1,633,820	
普通預金	5,841,243	
前払金	33,000	
流動資産合計		7,581,048
固定資産		
電話加入権	72,000	
固定資産合計		72,000
資産合計		7,653,048
負債の部		
流動負債		
未払金	6,613	
前受金	900,000	
流動負債合計		906,613
固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		906,613
正味財産の部		
前期繰越正味財産		4,398,985
当期正味財産増減額		2,347,450
正味財産合計		6,746,435
負債及び正味財産合計		7,653,048







私たちの思い——

はじめに、眼ありき

カスタムメイドという発想。

私たちは一人ひとりの眼に合わせたレンズ設計こそが最良と考え、
眼科医療と社会への貢献を目指します。

私たちの理念

社会への貢献
会社の発展は社会に貢献した度合いによって決定される

ベストの製品づくり
最小であっても最良のコンタクトレンズを提供する会社でありたい

安全な視力の提供
レンズそのものを売るだけでなく安全性や快適さ
というソフトクォアを付けて売る会社でありたい

made in kyoto



本社 〒600-8814 京都市下京区中登寺庄ノ内町46番1
TEL 075-315-3050 <https://www.sun-con.com>

2021年度予算

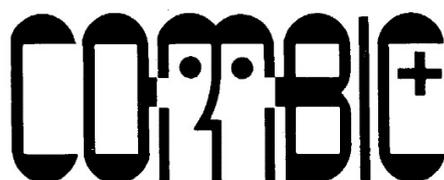
2021年4月1日～2022年3月31日

2021年度 活動予算書

2021年04月01日～2022年03月31日

特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会（単位：円）

科目	2021年度予算額	【人件費】	
1. 経常増減の部		給料手当	300,000
(1) 経常収益		法定福利費	3,020
受取会費		【人件費計】	303,020
正会員受取会費	700,000	【その他費用】	
賛助会員受取会費	150,000	会議費	20,100
受取会費計	850,000	通信運搬費	300,000
受取寄付金		消耗品費	30,000
受取寄付金	500,000	事務用品費	10,000
募金収益	10,000	印刷製本費	250,000
広告料収益	16,200	水道光熱費	30,000
受取寄付金計	526,200	支払地代家賃	118,800
受取助成金等		委託費	30,000
受取民間補助金	50,000	保険料	6,500
受取民間助成金		諸会費	85,000
- 日本眼科医会	400,000	支払手数料	30,000
- 一燈園	500,000	租税公課	2,500
受取助成金等計	950,000	雑費	20,000
その他収益		【その他費用計】	932,900
受取利息	20	管理費計	1,235,920
雑収益	10,000	経常費用合計	2,948,120
その他収益計	10,020	当期経常増減額	-611,900
経常収益合計	2,336,220	当期正味財産増減額	-611,900
(2) 経常費用		前期繰越正味財産額	6,746,435
事業費		次期繰越正味財産額	6,134,535
【人件費】			
給料手当	700,000		
【人件費計】	700,000		
【その他費用】			
通信運搬費	100,000		
機材費	500,000		
医療用消耗品費	100,000		
支払地代家賃	277,200		
雑費	35,000		
【その他費用計】	1,012,200		
事業費計	1,712,200		



眼科／耳鼻科器械

株式会社 コンビック

〒578-0947 東大阪市西岩田3丁目3番13-108号

TEL.06-6788-0520・FAX.06-6788-0522

役員・顧問名簿

2021年3月31日現在

理事長	黒田 真一郎	永田眼科 理事長
副理事長	松本 英樹	眼科松本クリニック院長
	岡田 明	おかだ眼科院長
理事	浅野 宏規	土浦協同病院眼科
	井口 博之	東淀鋼材株式会社社長
	植木 麻理	永田眼科
	籠谷 保明	かごたに眼科院長
	柏瀬 光寿	柏瀬眼科院長
	黒住 淑子	故 黒住格前理事長夫人
	原 吉幸	原眼科医院副院長 大阪大学医学部臨床教授
	松田 聡	松田アイクリニック院長
	川邨 夫美子	プロパティ・ケア
	荒木 敬士	兵庫医科大学病院眼科
監事	藤原 りつ子	医療法人社団吉徳会会長
会長	西田 多戈止	一燈園 当番 AOCA第三代理事長(昭和63年9月～平成6年)
顧問	井浪 智夫	元(株)イナミ代表取締役
	小澤 素生	(株)ニデック代表取締役社長
	可児 一孝	滋賀医科大学眼科名誉教授
	湖崎 克	湖崎眼科元理事長
	雑賀 司珠也	和歌山県立医科大学教授
	塩田 洋	徳島大学名誉教授・総合病院回生病院眼科
	平松 邦夫	兵庫県眼科医会会長
	中島 章	順天堂大学眼科名誉教授
	佐堀 彰彦	大阪府眼科医会会長
	鮑浦 淳介	(株)MIRAI EYE代表取締役・宮崎大学農学部附属動物病院 研究員 串本有田病院眼科専門医・鳥取大学医学部臨床教授 明治国際医療大学客員教授・AOCA第五代理事長(平成14年3月～平成26)
	牧野 芳久	なめり牧野眼科院長
	安井 多津子	元安井眼科診療所院長
	山口 洋徳	(株)はんだや代表取締役
名誉会員	岩橋 英行	AOCAの提唱者(昭和46年1月7日付朝日新聞紙上) 元世界盲人福祉協議会副会長(WBWC)・元日本ライトハウス理事長 AOCA初代理事長(昭和47年4月～昭和57年1月)
	高橋 幸男	元日本眼科医会副会長・元大阪府眼科医会会長 AOCA第二代理事長(昭和57年～昭和63年)
	黒住 格	元市立芦屋病院診療局長・眼科部長 ネパール眼科医会名誉会員・AOCA第四代理事長(平成7年～平成14年3月)
	樋口 雄二	元大阪府眼科医会理事・ミャンマー担当
	立林 和枝	元眼科松本クリニック看護婦長
	大橋 敏夫	元(株)サンコンタクトレンズ会長
	橋本 勝利	元音戯工房代表

想う *Imagine*

紛争・テロ・貧困・飢餓…。国、民族、宗教、主義そして個人、それぞれのエゴがぶつかり合う…。それが21世紀の現実である。この比較的平和な日本の我々の日常のはるか向こうで、確かに存在している幾千万、幾億もの苦しみや悲しみに想いを巡らせよう。もし自分や自分の家族がその国に生まれ、自分の生き方さえも選べず不幸のうちに閉じ込められている人間の一人だったら…とありありと想像してみよう。

奉仕する *Serve*

自分の家族の者が目の前で苦しんでいるのを見て、黙って見過ごせる人がいるだろうか。我々は世界の問題を自分や自分の家族の問題としてとらえ、世界の片隅で悲しみや苦しみを抱えて生きている人々が少しでも幸せに生きられるよう、何かの形で（我々の得意とする眼科医療の面）で奉仕しようと集まった。金と暇を持って余した人がするのではなく、わずかばかりの無駄を省き、時間を作り、奉仕するのである。

尊ぶ *Respect*

その人の思想、主義、宗教、生まれ、地位や貧富によらず、この地上に生きている一切の人を尊ぼう。大いなるものの下では、一人ひとりがかけがえのない崇高な命である。

内省する *Introspect*

立ち止まってよく考えてみよう。この世界の対立や争いの元は、我々自身の中に巣食っている貪欲であり憎悪であり過剰な利己心であることを。人間を不幸に陥れる問題の根は我々自身の中にあり、その解決への道も我々自身の中にあることを。我々一人ひとりが、心の中に争いの種を持たない、真に優しい人間にならない限り、平和な世界はやってこないのである。

志す *Aim*

大袈裟かもしれないが、我々の活動は、争いのない幸せに満ちた世界を実現する為の人類の未来をかけた一つの運動であると考えよう。好きでなくても多少の危険があっても行わなければならない、ヒューマニズムに根ざした運動であると位置付けよう。我々地球市民の一人ひとりが、小さな草の根のところから立ち上がらねば、この地球は不信と憎悪と暴力の連鎖の中に滅びるであろう。

楽しむ *Enjoy*

私達の日々の活動においては、決して怒らず、争わず、大声を張り上げず、眉間に皺を寄せず、辛いことを率先して行い、みんなで楽しく和やかに行うことを旨としよう。そうしてまず、私達の周りの小さな世界を、争いのない喜びに満ちた世界にするところから始めよう。

～設立50周年～

2022年にアジア眼科医療協力会は設立50周年を迎えます。1972年にAOCAはネパールを中心としたアジアの地域に対して、眼科医療の面で様々な援助活動を行うこととしました。当初ネパールには眼科医が3名しかいなかったことから、病院のない僻地に医療チームを派遣し、学校などを仮設病院として、白内障手術を中心とした医療を無償で行うアイキャンプ活動を始めました。

また、白内障の手術治療をするだけでなくその原因を断つために、ネパール人の人材育成にも力を入れ、眼科機材の技術者、看護師、眼科医を日本に招聘して日本の病院や企業で研修を通してネパール人のために働ける人材を育てました。

1988年には日本人眼科医をネパールのケディア病院に長期派遣して、病院の運営や支援活動を行いました。1997年にはネパールでも最貧地区であるゴールに、24時間テレビチャリティ委員会と協働で、ゴール眼科病院を建設して病院運営に力を注ぎました。その後ゴール病院は自立をし、今ではケディアとゴールの2つの病院で、年間1万5千人を超える手術を行うまでになりました。

2007年から2010年にかけて、独立行政法人国際協力機構（JICA）と草の根技術協力「ネパールにおける眼科医療システム強化プロジェクト」を行い、眼科医の技術力や保健師の眼科知識向上を図り、一人でも多くの草の根の人々に、眼科医療がいきわたるシステム作りを行いました。

一方、インド北西部、ヒマチャルプラディッシュ州カングラ県にあるダラムサラでのアイキャンプ活動は2000年から継続して行っております。チベット亡命政府があるダラムサラに唯一あるデレク病院には眼科医がいないこともあり、現地からの要請もあり、毎年年末にアイキャンプ隊を派遣し、毎回40名から70名ほどの患者さんに白内障手術を施してきました。

また2018年度からは、南インドのチベット難民居住区であるバイラクッペに新たにアイキャンプ隊を派遣し始め、2019年には2回目のアイキャンプを行いました。2020年末は新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響を受け両アイキャンプとも行うことができませんでした。一刻も早い収束を願っております。

～記念誌の発行～

2022年のAOCA設立50周年を記念して記念誌の発行を予定しております。50年近い歴史のその時々でAOCAに関わってくださった方々の懐かしい思い出やコメントをAOCAにお寄せいただき、記念誌に纏めたいと考えております。

皆様方の永きに亘る日頃のご支援に加えて、誠に恐縮ではございますが、記念誌の発行に関しましてもご支援を頂ければ幸甚に存じます。

ご支援につきましては下記を利用させていただきますよう、何卒よろしく申し上げます。

— 三菱UFJ銀行 甲子園支店 普通預金

口座番号：5038863

名義：特定非営利活動法人（トク化エイリカトウホウジン）

アジア眼科医療協力会 理事長 黒田真一郎

(アジアガクンカクイヨウキョウリョクカイ リジチョウ クロダ シンイチロウ)

— 郵便振替

口座番号：00920-5-318566

口座名：アジア眼科医療協力会(アジアガクンカクイヨウキョウリョクカイ)



特定非営利活動法人

アジア眼科医療協力会

Association for Ophthalmic Cooperation in Asia

〒663-8104 兵庫県西宮市天道町7-10 105号

電話0798-67-3821 FAX0798-67-3823

URL: <http://www.aoca.jp/>

E-mail: info@aoca.jp